

地域福祉フォーラム 実施要領

1. 趣旨・目的

佐倉市における地域福祉の推進を図るため、佐倉市は、「第4次佐倉市地域福祉計画」(計画期間：令和2年度～令和5年度)を、佐倉市社会福祉協議会は、ともに歩むふくしプラン4(第6次佐倉市地域福祉活動計画(計画期間：令和3年度～令和5年度))をそれぞれ策定し、取組を進めています。

今回、両計画の状況報告を行うとともに、今後、包括的な支援体制と多様な参加・協働の推進の整備に向けて、その役割が期待されることから、「地域福祉コーディネーターに期待すること」をテーマに、関係者による議論を行う、本フォーラムを実施します。

2. 日時・会場・参加者

○令和3年9月26日(日)・13:30～15:30(AM・準備)

※無観客。新型コロナウイルス感染症、衆議院選挙などの要因に柔軟に対応する。

○ミレニアムセンター佐倉 ホール(舞台用照明設備・音響設備を含む)

○新型コロナウイルス感染症対策で、当日に観客は入れず、撮影を行い、後日、編集のうえ、市のホームページにYouTubeとして掲載するとともに(期間限定公開)、当日の内容を報告書として作成し、掲載する予定。

※編集過程で手話通訳を入れるなど(YouTubeの字幕)、情報保障に配慮する。

3. 主催 ※2年に1回開催。第4次佐倉市地域福祉計画の取組の1つ(P41)。

佐倉市・社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会

4. 内容

○第1部：両計画の状況報告

【佐倉市】 第4次佐倉市地域福祉計画

【佐倉市社会福祉協議会】ともに歩むふくしプラン4(第6次佐倉市地域福祉活動計画)

※第2部を踏まえ、地域福祉コーディネーターに関する説明を含む

○第2部：地域福祉コーディネーターに期待すること

地域福祉コーディネーターは、市社協の「ともに歩むふくしプラン4」(第6次佐倉市地域福祉活動計画)に位置づけられ、モデル圏域を定め、取組が行われている。

そこで、地域福祉コーディネーターの位置づけ、他の自治体での活躍、佐倉市における期待と課題などを踏まえたうえで、佐倉市において、地域福祉コーディネーターに期待することを議論する。

【効果】

佐倉市と調布市の状況などの違いを踏まえたうえで、佐倉市の地域福祉コーディネーターの取組のPRや先駆的に取り組んでいる調布市の報告を行う。それに対し、当フォーラムのコーディネーターの専門的な知見からの助言を受け、今後、佐倉市における地域福祉コーディネーターの取組をどのように進めていくべきかに活かすことができる。

地域福祉フォーラム プログラム（案）

○総合司会（もしくは影アナ）：事務局職員（※今後協議）

時 間	内 容
13:30～13:40	<p style="text-align: center;">【開 会】（※それぞれ3分程度）</p> <p>○主催者挨拶 佐倉市長 西田 三十五 （予定） 佐倉市社会福祉協議会会長 長谷川 大美</p>
13:40～14:00	<p style="text-align: center;">【第1部：両計画の状況報告】</p> <p>○第4次佐倉市地域福祉計画 福祉部長 丸島 正彦 ○ともに歩むふくしプラン4（第6次佐倉市地域福祉活動計画） ※第2部を踏まえ、地域福祉コーディネーターに関する説明を含む 事務局長 深沢 孝志</p>
14:00～15:30	<p style="text-align: center;">【第2部：地域福祉コーディネーターに期待すること】</p> <p>●コーディネーター 小林 雅彦 氏（国際医療福祉大学医療福祉学部 学部長）</p> <p>○コーディネーターと事前協議の上、④に、必要に応じて説明できる職員が入る <u>※前提として、佐倉市と調布市の状況などの違いを提示する</u></p> <p>①佐倉市の考える地域福祉コーディネーター像（10分程度） <u>○佐倉市福祉部社会福祉課長 大谷 誠一</u> <u>○国の地域共生社会の実現に向けた動き、市町村に求められている、「包括的な支援体制の整備」、佐倉市の特性などを踏まえて、第4次佐倉市地域福祉計画で示す地域共生社会の実現へ向け、佐倉市が地域福祉コーディネーターに期待することを発表する。</u></p> <p>②佐倉市社会福祉協議会で取り組む地域づくりでの地域福祉コーディネーターの役割（15分程度） <u>○佐倉市社会福祉協議会地域福祉推進グループ福祉活動専門員 細谷 聡美</u> <u>○ともに歩むふくしプラン4で目指す地域と、その地域づくりにおける地域福祉コーディネーターの目的を発表し、現在の活動状況も報告する。</u></p> <p>③調布市での地域福祉コーディネーターの活動状況（15分程度） <u>○調布市社会福祉協議会地域福祉係長 坂本 祐樹 氏</u> <u>○地域福祉コーディネーターの活動状況を報告していただき、調布市の地域づくりに地域福祉コーディネーターがどのように関わってきてどのような効果があったか報告していただく。</u></p> <p>④地域共生社会の実現に向けて、地域福祉コーディネーターに期待すること（45分程度） <u>○小林コーディネーターによる進行</u> <u>○地域共生社会の実現に向けて、地域支援、個別支援、課題の共有と参加支援の視点を押さえながら、地域づくりにおいて地域福祉コーディネーターとしてどう関わっていけばよいかを、3者の意見を交えながら、これからの方向性を定める（※事前にコーディネーターと打ち合わせ）。</u></p>
15:30	【閉 会】